

項目	審査会当日意見 (P は方法書のページ番号)	文書意見	事業者回答 (P は添付資料ページ番号)
全般的事項	<p>風力発電機設置対象区域が集落に近接している場所もあるため、影響を軽減したと評価する基準を明確にするとともに、住居等への影響を考慮して近接した場所には風力発電機をなるべく設置しない計画にすること。 【山本委員，平野会長】P.275</p>		<p>方法書では評価の手法において評価の基準を記載しました。今後、調査、予測及び評価を行うことで影響の軽減を図るとともに、風力発電機の設置検討に当たっては、住居から十分な離隔を確保します。</p>
	<p>想定区域は林道等が十分に整備されていない地域であるため、風力発電機設置よりも道路建設工事の方がより影響を与えることを念頭に置き、今後の手続きを進めること。 【平野会長】</p>		<p>方法書以降の手續において実施する現況調査、予測・評価では、道路建設工事も含めた「工事中の影響（建設機械の稼働）」も対象とすることにしており、工種工法等に応じて影響が最大となる条件でも環境基準等を満足するように事業計画を見直したり、環境保全措置を設定したりする方針です。</p>
	<p>想定区域内の一般県道101号丸森梁川線は、令和元年東日本台風によって崩壊している箇所が多数ある。文献等で調査された時期と現況が異なっている可能性があるため、方法書を作成する前に予備的な調査の実施を検討すること。 【内田委員】P.176</p>		<p>本方法書を作成するに当たり、複数回にわたって現地状況を確認する踏査を実施しています。また、地元自治体や地区長様等を含む関係者様、関係機関等との協議・調整し、最新の情報に基づいて事業計画を策定しています。</p>
	<p>保安林，県立自然公園等の地域の改変を極力回避すること。 【野口委員】P.319-P.324</p>		<p>方法書段階における対象事業実施区域の設定に当たり、保安林や県立自然公園の区域は可能な限り除外しました。また、改変が生じてしまう区域については、関係機関や地域の関係者等と協議、調整し、状況に応じた代償措置の適用を含め、必要な手続きを適切に進めています。</p>
騒音及び風車の影	<p>仮設住宅は一般の住宅よりも音の性能が劣るため、仮設住宅の立地状況及び利用期間等を調査し、事業のスケジュールも踏まえて適切に調査、予測及び評価すること。 【永幡委員，平野会長】</p>		<p>事業地が位置する丸森町においては応急仮設住宅が建設されていますが、最も近い仮設住宅でも対象事業実施区域から約4km離れた位置関係となっております。本事業は、2023年度に建設工事、2026年度から運用開始の予定となっていることから仮設住宅の利用期間と事業スケジュールを踏まえ、必要に応じて調査、予測及び評価を実施する方針です。</p>
	<p>住居までの距離が500mの範囲内に風車を設置しないこと。また、風車に取り囲まれる集落については、風車の音及び風車の影による重大な影響が強く懸念されるため、累積的影響の有無を適切に評価した上で、方法書を作成すること。 【平野会長，永幡委員】P.269-P.278</p>		<p>配慮書でも示した通り、本事業は少なくとも住居から500mの範囲内には風力発電機を設置しない計画です。また、騒音及び風車の影に係る調査、予測及び評価の手法を方法書に記載しました。今後の手續においては騒音及び風車の影の累積的影響の有無について検討し、必要に応じて調査、予測及び評価を実施する方針です。</p>
水質	<p>令和元年東日本台風で生じた裸地周辺の開発による水質への影響を検討すること。 【伊藤委員，平野会長】</p>		<p>本事業の実施による水質への影響については今後の手續において調査、予測及び評価を実施し、その結果を踏まえて必要な対策(沈砂池・法面の早期緑化等)を講じる方針です。</p>

項目	審査会当日意見 (P は方法書のページ番号)	文書意見	事業者回答 (P は添付資料ページ番号)
地形・地質	<p>自然景観資源のうち地形に関わる景観資源も重要な地形・地質として認識し、次郎太郎山を中心とした地域を想定区域から除外すること。 【伊藤委員】P.92,P.141</p>		<p>次郎太郎山周辺への配慮のため、対象事業実施区域から除外しました。</p>
	<p>想定区域周辺は特に花崗岩地質が多く、土砂災害に留意しなければならない地域であることを念頭に置き、想定区域及びその周辺に存在する砂防指定地、土砂災害警戒区域(土石流)とそれらの上流域(土石流危険渓流にあたる場所)並びに土砂流出・土砂崩壊防備保安林を想定区域から除外すること。 【伊藤委員】P.241-P.255</p>		<p>対象事業実施区域の検討に当たっては、砂防指定地を区域から除外した他、土砂災害警戒区域、土石流危険渓流及び土砂流出・土砂崩壊防備保安林を可能な限り除外しました。なお、方法書に示した「風力発電機設置位置」には上記の範囲は全て回避した計画としています。</p>
	<p>令和元年東日本台風による崩壊で生じた裸地周辺の開発により土砂流出を拡大する可能性があることから、地理院地図等から現在の裸地を把握した上で事業内容を検討すること。 【伊藤委員】</p>		<p>最新の航空写真を活用した判読素図をもとに現地踏査を行い、令和元年東日本台風により生じた裸地の状況を把握しましたが、事業地付近では大規模な崩壊は発生しておりません。方法書に記載した事業計画は、その踏査を踏まえて作成しています。</p>
	<p>土石流への影響については管理用道路、工事中道路等の線的な施設を意識した対策を検討すること。 【平野会長】P.32</p>		<p>今後の事業計画の策定や、環境影響・環境保全措置の検討においては、管理用道路・工事中道路等の線的な施設の存在を前提に、土石流等が発生する可能性を勘案します。</p>
動物	<p>想定区域はサシバの渡りコースと重なっており、隣接する他事業との累積的影響を考慮するとともに上昇気流を利用するという鳥の特性を踏まえた上で、渡り鳥のルートを引き続き確保できるよう風力発電機の配置等を検討し、方法書段階では渡りルートの確保を想定した調査を実施すること。 【由井委員，平野会長】P.35,P.93</p>		<p>サシバの渡りについては、出現状況(時期・時間帯・高度・飛翔パターン)を把握した上で、地形や上昇気流等との連関を考察し、本事業ならびに周辺事業に伴う影響(複合影響を含む)について予測・評価し、その結果を踏まえて必要な対策を講じる方針です。</p>
	<p>宮城県はカヤネズミの北限であるため、生息地について、文献等を再精査し、適切に調査等を行うこと。 【由井委員】P.291,P.294</p>		<p>カヤネズミについては、最新の文献や有識者へのヒアリングを踏まえて最新の情報を得ながら、分布している可能性があることを前提に、適切に調査を行います。</p>
	<p>特に地表性の動物は、風力発電機設置よりも管理用道路及び工事中道路の工事による影響を大きく受けるため、取付道路等の地形改変について方法書段階では調査、予測及び評価の対象とすること。 【太田委員】P.267</p>		<p>方法書以降の手續においては、管理用道路及び工事中道路の建設工事の改変を影響要因に想定し、地表性種を含めた動物全般への影響について調査、予測・評価に取り組む方針です。</p>
植物	<p>夫婦岩の植物群落から十分な離隔を取り、稀少な植物群落への間接的な影響の回避を検討すること。 【牧委員，野口委員，平野会長】P.316-P.318</p>		<p>特定植物群落である「夫婦岩岩上植物群落」への直接的・間接的な影響を回避するため、周辺を対象事業実施区域から除外し、離隔を確保しました。</p>

項目	審査会当日意見 (P は方法書のページ番号)	文書意見	事業者回答 (P は添付資料ページ番号)
景観	<p>人が日常生活を送っている場所として拠点的な集落，中心街（丸森町の中心街，筆甫の中心集落，角田市の中心街等）を視点場に追加すること。 【平野会長】P.331-P.333,P.339</p>		<p>方法書では、「身近な眺望景観」として地元の方が集まる役場、集会所、道の駅等を視点場に選定し、事業影響を調査、予測・評価する方針を記載しました。今後、方法書に対する意見等を踏まえて対応方針の更新を図ったうえで、具体化していく方針です</p>
	<p>今回，白石市から意見を聞く機会はないが，他事業に対して白石城からの眺望に風車が映りこまないよう要望があったことを強く認識した上で，調査，予測及び評価すること。 【永幡委員】P.338</p>		<p>方法書に記載の通り、景観の調査地点（主要な眺望点）に「白石城」を選定の上、関係自治体に白石市を追加しました。今後、方法書に対する意見等を踏まえて対応方針の更新を図ったうえで、調査、予測及び評価を実施します。</p>
放射線の量	<p>工事に伴いホットスポットが形成されないよう汚染土壌の飛散又は流出に十分配慮すること。 【石井委員】P.153</p>		<p>工事の実施に当たっては、汚染土壌の飛散又は流出に十分留意します。</p>
	<p>従来 of 測定方法ではなく，表層土壌 1cm 間隔で深さ 10 cm 又は 5 cm 位まで測定する予備調査を実施すること。予備調査は，方法書作成までに行い，予備調査結果に基づき本調査の方法を決定すること。 【平野会長，石井委員】</p>		<p>方法書作成に当たっては、表層土壌 1cm 間隔で深さ 10 cm まで測定する予備調査を実施し、その結果を踏まえて本調査の手法を検討しました。</p>